

“しょうちいき つうしん”



編集発行／葛飾区社会福祉協議会 小地域福祉活動推進課

第4次葛飾区地域福祉活動計画の「素案」がまとまりました!

葛飾区社会福祉協議会では、来年度からの5年間を期間とする「第4次葛飾区地域福祉活動計画」(令和4年度～令和8年度)の策定を進めており、このたび「素案」がまとまりました。

計画の策定にあたり、小地域福祉活動推進委員の皆さまには、アンケート調査にご協力をいただき誠にありがとうございました。計画の方向性や今後の取り組み等へ反映させるための基礎的な資料として活用させていただきました。

■「第4次葛飾区地域福祉活動計画」の策定経過

これまでに開催した策定委員会や作業委員会の議事録を、葛飾区社会福祉協議会のホームページで公開しておりますので、ぜひご覧ください。



策定委員会の様子



作業委員会の様子



葛飾社協
ホームページ

■パブリックコメントを実施しています。

区民の皆さまから広くご意見をいただき、より良い計画にしていけるため、パブリックコメントを実施しています。

- ①実施期間 令和3年12月8日(水)～令和4年1月6日(木)
- ②閲覧場所 地区センター、区民事務所、区民サービスコーナー、区政情報コーナー、社会福祉協議会事務局、ワークスかつしかに「素案」を設置しています。
※社会福祉協議会ホームページからも閲覧可能です。



〈情報紙に関するご意見・ご要望について〉

しょうちいきつうしんは年に4回発行しています。今後、取り上げてほしい情報や内容などがございましたら、いつでもお気軽に各地区担当へご連絡ください。よろしくお願いたします。

もくじ

- ・「新宿地域事業推進連絡会」の紹介 …P2
- ・各地区小地域福祉活動の活動報告 …P3
- ・発見 さまざまな地域の地域福祉活動 …P6

今回は「新宿地域事業推進連絡会」をご紹介します。

1. 組織の成り立ち

平成21年、自治町会連合会や民生委員、青少年育成地区委員会などから構成される「新宿地域事業推進連絡会(以下、連絡会)」が発足し、住民主体による地域活動に取り組んできました。

平成28年4月、社協との連携により、連絡会が取り組む「新展」を小地域福祉活動と位置づけ、より一層地域の交流を深めるために取り組みを進めています。

2. これまでの取り組みについて

●新宿の町の展覧会「新展(地域展覧会)」

「新展」は、地域住民のふれあいや学びの場を提供し、住民相互の信頼と親しみを促進することを目的に、新宿地区センターで開催してきました。平成27年度に第1回を開催し、第5回となる令和元年度は152名の地域の方々から絵画・彫刻・写真・書道・手芸など合計460作品が出展され、2日間合わせて約500名の方がご来場されました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降の「新展」は開催中止となっています。



令和元年度の「新展」の様子

3. 今後の取り組みについて

●「新展」に代わる新たな取り組みに向けて



コロナ禍で
どんな取り組み
ができるだろう？

新宿地域事業推進連絡会

新宿地区の取り組みの特色は、新宿の小・中学校、葛飾商業高校などにもご参加いただき、多様な世代がイベントに参加していることです。今後も、この特色を活かして、支えあいの地域づくりを進めていきます。

現在はコロナ禍のため、「新展」に代わる新たな取り組みの実施を検討しています。



次号も各地区の取り組みを詳しく紹介します！
「他の地区の〇〇について知りたい」、「〇〇をもっと詳しく書いてほしい」など、ぜひご意見をお寄せください。

各地区小地域福祉活動の活動報告(8月~11月)

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながら、活動を再開・継続している地区の報告をします。

(感染症対策としてマスクの着用・検温・消毒・換気などを徹底し実施しています。)

[敬称略]

立石地区

令和3年11月、誰もが集える立石の居場所を合言葉に立石地区版のサロン活動「たち会」がスタート!

★たち会

- 内容:①健康レク
新聞紙の棒を使って、腕を動かす、ひねるなど
- ②お茶のみ会
5~6人のグループに分かれて茶話会
- ③脳トレ
回文づくり「爺さん天才児(じいさんてんさいじ)」

日時:11月27日(土)

会場:本田町会会館

参加者:36名



高砂地区

★見守り活動

内容:70歳以上の希望者に“さりげない見守り”を行っています。

日常生活の困りごとを相談できるよう「困ったときの連絡先」も配布しています。

さりげない見守り?

たとえば、洗濯物が干してあるか、郵便受けにものがたまっていないか、雨戸は閉じたままになっていないかなどの見守りを、日常生活で近くを通りがかった際に行います。

見守り協力員?

町会ごとに協力者を募っています。



【高砂町議会「困ったときの連絡先」】	
担当 〇〇 〇〇	電話番号
担当 〇〇 〇〇	電話 1234-5678
担当 〇〇 〇〇	電話 090-1234-5678
担当 〇〇 〇〇	電話 080-9876-5432
担当 〇〇 〇〇	電話 03-1234-5678
担当 〇〇 〇〇	電話 04-9876-5432
担当 〇〇 〇〇	電話 05-1234-5678
担当 〇〇 〇〇	電話 06-9876-5432
担当 〇〇 〇〇	電話 07-1234-5678
担当 〇〇 〇〇	電話 08-9876-5432
担当 〇〇 〇〇	電話 09-1234-5678
担当 〇〇 〇〇	電話 10-9876-5432
担当 〇〇 〇〇	電話 11-1234-5678
担当 〇〇 〇〇	電話 12-9876-5432
担当 〇〇 〇〇	電話 13-1234-5678
担当 〇〇 〇〇	電話 14-9876-5432
担当 〇〇 〇〇	電話 15-1234-5678
担当 〇〇 〇〇	電話 16-9876-5432
担当 〇〇 〇〇	電話 17-1234-5678
担当 〇〇 〇〇	電話 18-9876-5432
担当 〇〇 〇〇	電話 19-1234-5678
担当 〇〇 〇〇	電話 20-9876-5432

◀見守り希望者へ「困ったときの連絡先」

年1回は安否確認も兼ねた在宅訪問をしています。

各地区小地域福祉活動の活動報告(8月～11月)

東金町地区

★朝のラジオ体操の集い

内 容: ラジオ体操

日 時: 毎月第2・4日曜日
午前8時～8時30分

会 場: 区立わかば公園

参加者: 約30名

“黄色いのぼり旗”
が目印です!



身体を動かすと免疫力も向上します!

金町地区

★サロン会

内 容: 地域の方が気軽に立ち寄れる「サロン」

※ 創作内容は毎月変更

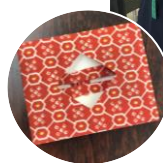
日 時: 毎月第2水曜日 正午～午後2時

※ 8～9月は緊急事態宣言中のため休止

会 場: 金町地区センター 2階ロビー

講 師: 金町地区小地域福祉活動推進委員会

参加者: 10～20名



10月は牛乳パックと布生地で
ビニール袋入れをつくりました。

★金町サロンコンサート

内 容: バンジョーの弾き語り

日 時: 11月10日(水)午後1時30分～3時

会 場: 金町地区センター 5階ホール

出演者: 北村 謙 氏

参加者: 70名



11月はサロンコンサート。北村謙さんの
しっとりとした歌声に酔いしれました。

各地区小地域福祉活動の活動報告(8月~11月)

四つ木地区

★困りごと相談

内 容: 四つ木地区にお住まいの高齢者とそのご家族を対象に
困りごと相談を受け付け(予約不要)
日 時: 毎月第2水曜日 午後1時~3時
会 場: 四つ木地区センター 2階小会議室



“困りごと相談”
の旗が目印です!



亀有地区

★亀有花風船の会 第26回イベント

内 容: ①花壇の植え付け
②健康体操(講師:池谷 俊子さん)
日 時: 10月4日(月)午前9時~11時
会 場: 亀有駅北口・南口花壇
参加者: 76名



☞フォーチュンベコニア、サルビアなどを植え付けました!



☞青空の下で体操するのは気持ちいいですね!

奥戸地区

★笑顔で会いましょう

内 容: 体操など
日 時: 毎週木曜日
午後1時30分~2時30分
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため
第1週・2週のみ開催

会 場: 東奥戸集い交流館
参加者: 10~15名



みなさん真剣に作業しています。

★ゆずの会

内 容: 脳トレなど
日 時: 毎週月曜日
午後1時30分~3時
会 場: 西奥戸憩い交流館
参加者: 10~15名



制作した作品を『かつしか大人のアートフェア』に出品しました。



発見！！全国各地の地域福祉活動

このコーナーでは、全国各地で行われている様々な小地域福祉活動を紹介しています。今月号では、「コロナ禍の地域福祉活動」をテーマに工夫と感染症対策をしながら“人と人とのつながりを絶やさない”活動を行っている2地域を取り上げご紹介します。

①ろくちゃんカフェ(三重県東員町六把野新田地区)^{とういんちょうろっぼのしんでん}～ラジオ体操で交流継続～

ろくちゃんカフェは、地域の方が「いつまでも元気に暮らすために、できるだけ外に出て、体を動かしたり、楽しくおしゃべりすることができる場」として月1回開催していました。しかし、コロナ禍で開催を中止せざるを得なくなり、交流の場がなくなってしまいました。

【コロナ禍の取り組み】

コロナ禍でも「ラジオ体操なら負担がなく、交流ができるのではないか」と話し合い、毎週土曜日の午前8時30分から開催しています。地域の方なら誰でも参加できるように、自治会の回覧板で周知したり、公園に遊びに来ている親子連れにも参加の声をしています。

ちょっとした運動ですが、朝から体を動かすことで1日を有意義に過ごせるとのこと。交流が少なくなったこの時期でも「みんなに合える場があることが楽しみ」との声も聞かれるそうです。



▶ラジオ体操には20名ほどの住民が参加します。

②地域・学校・福祉施設が連携した取り組み(大阪府大阪市西成区)

西成区では、令和元年から小学校6年生が総合的な学習の時間を活用して、地域福祉活動の場へ出向いて活動者や利用者にインタビューを行い、学習した内容を発表する取り組みを実施しています。しかし、令和2年度はコロナの影響を受け、予定していたインタビューはできませんでした。

【コロナ禍の取り組み】

代替りの取り組みとして、子どもたちは配食サービスを利用する高齢の方に、お弁当と一緒に渡すプレゼントとして、手紙と折り紙を作成しました。配食の日には、お弁当とプレゼントを利用者に届ける様子を動画で撮影し、後日、学校の教室で上映会を行いました。

お弁当とプレゼントを受け取った利用者の笑顔と喜びにあふれる様子を見て、子ども達からは、「あ、知っているおばあちゃん!」と声がかかる場面もありました。動画を通して、利用者の感謝の声が6年生に届けられました。



Point ご紹介した地区では、コロナ禍も工夫して“支えあいの地域づくり”に取り組んでいます。



- ①これまでの活動場所・方法を変える
- ②地域、学校、施設などが連携した取り組み

全国の事例は、全国社会福祉協議会『未来の豊かなつながりアクション』より引用しています。コロナ禍において、少しでもみなさまが地域でつながりを絶やさないための活動を続けていくヒントになれば幸いです。

全国社会福祉協議会『未来の豊かなつながりアクション』ホームページはこちら

☞<https://tunagari-action.jp/>

